

プライマリ・ケア医のための  
**実習！ゼロからの筋骨格系診察シリーズ「膝」「腰」**

日時：平成23年12月4日（日）10：00～15：00

講師：池尻 好聰 先生 シムラ病院 場所：機械振興会館

プライマリ・ケア医のための「実習！ゼロからの筋骨格系診察シリーズ」第3弾を12月4日、東京都港区の機械振興会館においてシムラ病院の池尻好聰先生と亀田ファミリークリニック館山理学療法士の服部陽輔先生を講師に迎え、『膝』『腰』をテーマに開催しました。

**膝の診察は、解剖と疾患を理解し、その痛みを誘発させる！**

午前は「膝」の講義です。恒例によってひざの骨を前からと後ろから絵に描いてもらうことから始まりました。骨の形状を描き、その周りにある腱や筋肉、膜、軟骨などの位置関係を解剖学的に興味を持ちながら理解してもらうという池尻先生独特の手法です。



解剖図を前に痛みの発生原因を説明する池尻先生

また、服部先生がよく言われる「膝は中間管理職」のたとえ話を披露してくれました。

「膝は股関節（上司）からは負担を強いられ、足首（部下）は」自分勝手にぷらぷら動いているのを管理しなければいけない」だから膝は上と下との繋がりとして考えなければいけないとのことでした。

「診察をマスターする」コーナーでは、こちらも恒例になりました模擬患者（服部先生）を実際に触っての実習です。池尻先生が手本を示し、その後各先生方がおこなっていきますが、池尻先生が手取り足取りで確実に目標とする患部に導いていきます。



実習をおこなう池尻先生と参加者の先生

午後の講義の最初に腰痛の患者さんがよく来る先生？との質問に全員の参加者が手を挙げられました。プライマリ・ケア医の先生がめまいや耳鳴りとともに最も悩む患者さんだと思われます。しかし、腰痛の疾患の約70%は腰椎捻挫…つまり原因不明の腰痛だそうです。

先生はヘルニアや脊椎狭窄症の見分け方、急性腰痛→レッドフラッグサインの症例を挙げられ、緊急手術を要する膀胱直腸障害や、専門医に紹介するタイミングなどを講義されました。とにかく問診で病歴をしっかりと聞くことが重要とのことでした。

次回セミナーは12月10日（土）きゅりあんで近藤先生の先生の「クリニックのためのWeb & HP活用セミナー」、翌11日はすみだ産業会館で須藤先生の「SpPinな身体所見」を開催します。